

平成26年3月（第3回）教育委員会会議録

1. 開催の日時及び場所

平成26年3月14日（金）17:00～18:15

宇部市港町庁舎 2階会議室

2. 出席委員の氏名

縄田 和光 委員長

水田 和江 委員

三原 節子 委員

赤川 宏 委員

白石 千代 教育長

3. その他議場に参加した者

佐貫教育部長、辻村教育次長、金重総務課長、安田学校教育課長、西村総務課長補佐、濱原総務係長

4. 趣 旨

委員長： ただいまから、平成26年3月14日の第3回教育委員会会議を開催いたします。本日は5人全員の出席がありますので、会議として成立していることを最初に報告します。

次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は三原委員にお願いします。

委員長： 本日の議題は「議案第9号 教職員人事の件」についての1件です。

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局： 12月の会議において承認していただきました「平成26年度 宇部市立小・中学校教職員人事異動方針」に基づき、平成25年度末の小中学校人事異動案について調整させていただきましたので、説明させていただきます。

管理職人事については、各学校の当面する教育課題の改善に適切に対応できるように配置するとともに、教頭昇任については、教務、生徒指導、研修、特別支援教育等への造詣を総合的に勘案し、幅広い視点で登用を図っています。

また、教諭については、各小中学校の教育課題を解決するため、全市的視野に立ち、男女比や年齢構成等の適正化に努めるとともに、学力の向上及び生徒指導の充実と強化のため、適任者の配置に努めました。

なお、同一校に7年以上の勤務者については、異動を行っています。

（管理職、教諭、養護教諭、事務職員、栄養職員、及び事務局人事に係る異動内容についての説明を行う。）

委員： 人事異動方針では7年での異動を原則としていますが、小学校では新しく来られる校長が多いように思います。新しい校長には、宇部市の教育計画に沿ってやってもらわないといけないと思いますが、その辺りは理解してもらっているのでしょうか。

事務局： これから理解してもらい、各学校の教育課題の解決に向けて取り組んでいただきたいと思います。

- 委員： 「学び合い」への取組に対する認識は持っているのでしょうか。
- 事務局： 本市のこれからの重要課題は、「学力向上」と「教育環境の充実」を図っていくことですが、新たに転入される管理職の方達は、学力向上や生徒指導にたけている方です。「学び合い」については、推進していくためにもこれからしっかりと学んでいただきたいと思っています。
- 委員： 様々な良い面を融合させながら、学校運営をしていただくことは必要と思いますが、本市が進めている「学び合い」を定着していくことが、結果的には学力向上に繋がっていくと考えています。必要な研修、指導等についてはよろしくをお願いします。
- 委員： 養護教諭の早期退職者が気になりますが、他の教員に比べ、業務の負担が大きいのでしょうか。
- 事務局： 早期退職者は個々の都合によるものと考えていますが、養護教諭に限らず、その他の教員も本業以外の業務が増える傾向にあり、教員全体の負担は増えてきています。
- 委員： 教頭が2人体制から1人になっている学校がありますが、教員の負担が更に大きくなっていくと思いますが、その点はどのように考えていますか。
- 事務局： 市としても教頭の複数配置の必要性は訴えていますが、県の方針では、これから2人から1人に減っていくと思われれます。その代わり、今後は「学力向上推進リーダー」の配置が進められていくことになると思います。
- 委員： 学力向上については、県が特に力を入れているようですし、本市としても、管理職と「学力向上推進リーダー」が足並みを揃えて、組織作りを行っていただきたいと思いますが、併せて、学力の低い子ども達への対応や子ども達の居場所作りにも気を使っていたいただきたいと思っています。
- 事務局： 各学校からは、厳しい家庭環境にある子ども達の話も多く聞いていますので、教育委員会内での連携を始めとして、小中連携やコミュニティ・スクール等を通して、地域での子育てや居場所作りも進めていかなければならないと思っています。
- 委員： 厚東中学校教頭が退職後に、他中学校へ再任用となっていますが、仕事内容と役職は何になりますか。
- 事務局： 正規職員と比べて勤務時間は短くなりますが、新規採用教員への指導や、実際に授業等も行っていただきます。役職としては、管理職ではなく、教諭となります。
- 委員： 校長や教頭の異動が少し早いように思われ、もう少し長くやっていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
- 事務局： 原則、校長と教頭を同時に異動させることはしませんが、退職者への対応や、学校運営に対する組織作りの面などから判断し、やむを得ず2年程度で異動する教頭もあります。
- 委員： 短期間での異動者が多い場合には、その学校内だけに限らず、小中学校間のつながりもしっかり引き継いでいただきたいと思っています。
- 事務局： 異動に際しては、各学校でも引継書を作成することで、次の者へ引き継いで

います。

委員：細かいところまで伝わらないこともあると思いますので、その辺りも含めてお願いします。

委員長：新規採用教員の配置はどうなっていますか。

事務局：今年度は多かったのですが、来年度は小学校で4名、中学校で2名を予定しています。教員の若返りを図っていくことは非常に重要なことですが、人材育成の面からは、受け入れ学校への体制作りや支援も考えていく必要があります。

委員：管理職の年齢はどのくらいですか。

事務局：少しずつ若くなってはいますが、まだまだ管理職、教員も含めて50歳の者が多く、高い年齢構成になっています。

委員長：他にご意見はありませんか。

教育長：今回の異動を見ると、教頭には他市から異動してきている者が多く、宇部市として人材育成が出来ていないことを実感しています。もっと自信を持ち授業ができる人材を育成していくことが喫緊の課題とも思っています。

委員長：異動については皆さんよろしいでしょうか。

(全委員異議なし)

委員長：異議がありませんので、「議案第9号 教職員人事の件」については承認といたします。

人事異動に際しては、長期的な視野に立ち、各学校の課題に対応できるよう、また学校間のバランス等も十分に検討され、全ての学校において円滑な学校運営ができますようよろしくお願いします。

以上で本日の教育委員会会議を閉会とします。